

# これくしょん・ぎやらりに

2011年2月5日(土) ▶ 4月10日(日)

## 日本の美 屏風・掛軸・絵巻の世界

### 特別展示: 道産子追憶之巻

#### Beauty of Japanese Painting: The World of Folding Screens and Scrolls

今日、絵画作品といえばほとんどの人が額絵(額に入った絵)を思い浮かべるでしょう。しかし、我が国において額絵が広まり普及していったのは、明治時代以降、近代社会の確立にともなっていたことでした。それは今から150年にも満たないわずかな期間といえます。江戸時代までの絵画といえば、その多くは屏風や掛軸、絵巻に仕立てられたものでした。近代化による絵画形式のこうした大きな変化は、人々の生活様式が一変したことと密接に関連したものといえるでしょう。

画家たちは今日においても、屏風や掛軸、絵巻による伝統的な

絵画形式をしっかりと受け継ぎ、常に新しい時代にふさわしい表現を模索しているのです。そして、「伝統と革新」が交錯する新たな「日本の美」は、現在も脈々と生み出され続けているといえます。

本展では、特別展示として展覧する岩橋英遠の壮大な絵巻《道産子追憶之巻》を含め、主に明治時代以降の巨匠たちが描いた屏風や掛軸、絵巻を、「山水」、「花鳥」、「人物・風俗」の三つの主題別にコーナー分けして紹介します。古くからの伝統にもとづいて、絶えることなく形づくられてきた「日本の美」の世界を心ゆくまでお楽しみください。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	岩橋 英遠	魁春	1940 (昭和15) 頃	絹本彩色・額
2	蠣崎 波響	花鳥人物図屏風	1820 (文政3)	紙本彩色・屏風 (6曲1双)
3	片岡 球子	初夏	1956 (昭和31)	紙本彩色・額

### 山 水

山岳や景や清らかな水の流れ。画家たちの心の風景でもある「山水画」。

彼らは自然をいつくしみ、繊細な感性で四季の表情を描きます。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
4	小坂 芝田	万竿幽趣	明治末~大正初	絹本墨画淡彩・屏風 (10曲1隻)
5	結城 素明	雲山清趣	1950 (昭和25) 頃	絹本彩色・軸
6	山口 蓬春	浄境閑寂	1926 (大正15)	絹本彩色・軸
7	小茂田青樹	月あかり	1913 (大正2) 頃	絹本彩色・軸
8	松林 桂月	新緑	1962 (昭和37)	絹本彩色・軸
9	大智 勝観	杭州天平山秋色	不詳	絹本彩色・軸
10	堂本 印象	四季図 (霞山春光、江畔晴色、金風天心、爽景白映)	昭和初期	絹本彩色・軸
11	谷 文晁	蝦夷山水器物図巻 (全5巻) 山水図巻 (巻4)、器物図巻 (巻5) を出品	1800 (寛政12) 頃	紙本彩色・卷子

## 花 鳥

草木に咲く花や鳥たちはもちろん、昆虫や動物たちも描かれます。

「花鳥画」の装飾的で華やかな画面は、しっとりとした気品をたたえ、生命の息吹をただよわせています。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
12	高木保之助	十二カ月連幅 二月(紅白梅)	1935(昭和10)頃	絹本彩色・軸
13	遠藤 教三	十二カ月連幅 八月(朝顔)	1935(昭和10)頃	絹本彩色・軸
14	吉田 秋光	十二ヶ月連幅 十一月(山茶花に小禽)	1935(昭和10)頃	絹本彩色・軸
15	片岡 球子	枇杷	1930(昭和5)	紙本彩色・屏風(2曲1隻)
16	北上 聖牛	晴間	1928(昭和3)	絹本彩色・屏風(2曲1隻)
17	山口 蓬春	暖冬	1933(昭和8)	紙本彩色・屏風(2曲1双)
18	山口 蓬春	十二ヶ月連幅 六月(五位鷺)	1935(昭和10)頃	絹本彩色・軸
19	山口 蓬春	春野	1935(昭和10)	絹本彩色・軸
20	竹内 栖鳳	家兔	1939(昭和14)	絹本彩色・軸

## 人物・風俗

日常の暮らしの情景や歴史上の人物など、さまざまな人々が描かれる

「人物・風俗画」。画家たちは人物の内面性ととともに、その時代の美意識を的確に描き出します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
21	横山 大観	陶靖節「幽篁弾琴」	1919(大正8)	絹本彩色・軸(双幅のうち左)
22	下村 観山	陶靖節「見南山図」	1919(大正8)	絹本彩色・軸(双幅のうち右)
23	筆谷 等観	夜遊之図	1924(大正13)頃	絹本彩色・軸
24	松岡 映丘	花のあした	1933(昭和8)	絹本彩色・軸
25	寺崎 広業	歳の市	1898(明治31)	紙本彩色・軸
26	北上 聖牛	はなれ国の初夏	1916(大正5)	絹本彩色・屏風(6曲1隻)
27	森田 沙伊	小鳥	1928(昭和3)	絹本彩色・屏風(2曲1隻)
28	森田 沙伊	洛北少女	1937(昭和12)	紙本彩色・屏風(2曲1隻)
29	片岡 球子	雅楽(女神と胡飲酒)	1967(昭和42)	紙本彩色・屏風(4曲1隻)
30	片岡 球子	面構 浮世絵師歌川国芳と 浮世絵研究家鈴木重三先生	1988(昭和63)	紙本彩色・額

## 特別展示：道産子追憶之巻

作者の故郷、空知郡滝川村江部乙(現・滝川市江部乙町)の生家からみた実景をもとに構想されました。

額装されていますが、右から左へと画面が展開していく絵巻の形式に従って描かれています。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
31	岩橋 英遠	道産子追憶之巻	1978~82 (昭和53~57)	紙本彩色・額